



夢に向かって



合志市立合志南小学校
学校だより 第9号
令和5年10月6日
文責 校長 土井昭子

学校教育目標 【郷土に誇りを持ち、未来を拓く心豊かな子どもの育成】

～認め合い・学び合い・励まし合うことができる子どもいっぱい为学校をめざして～



前期 95日終了

4月から夏休みをはさみ、95日間の前期でした。コロナ感染対策が見直され、通常の教育活動が少しずつできるようになり、入学式・授業参観・運動会などたくさんの方々に子どもたちの姿を見ていただきました。命に関わるような事故等がなく、終業式を迎えることができ安堵しています。振り返ってみると、年度初めに「誰もが安心できる学級、学校にしていこう」と話をしました。それは、自分を大切にすること、同じように友だちも大切にすることです。学校は、たくさん子どもたちと先生たちが過ごしていますので、日々、いろいろなことがあります。実際、優しい姿や助け合う場面もたくさん見ました。悔しい思いをしたり、思い通りに行かずにイライラしたりする姿も見ました。時には、厳しく話をしなければならないこともありました。その積み重ねの日々だったと思います。何かあったときに、強く大きく成長するものだと捉え子どもたちや先生たちに話をしています。子どもたちは、本当によくがんばりました。一人ひとり、それぞれのがんばりがあり、学級・学校全体として少しずつ成長しています。通知表には、担任から精一杯の言葉が書かれています。子どもさんと一緒に読んでほしいと思います。そして第一声、褒めてあげてください。「よくがんばったね。」と。

保護者の皆様には、子どもたちを応援していただき本当にありがとうございました。多方面での支援に感謝申し上げます。最近のニュースで、教職員の人手不足の報道があります。合志南小も例外ではありません。学校内でやり繰りし、何とか乗り越えています。行き届かないところもあるかもしれませんが、心配なことがあったら早めにご相談ください。子どもたちの成長を願い一緒に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお祈りします。

令和5年度全国学力学習状況調査

本年度4月に学校の学習指導の状況を把握・改善するために「令和5年度全国学力学習状況調査(6年生対象)」が行われました。結果が戻ってきましたのでお伝えします。

教科は国語と算数です。内容は、1年生から5年生までの基本となる内容でした。

国語については、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「評価の観点」の全てで正答率が全国や県を上回りました。具体的には、基礎・基本が身につく、それを生かして読む・書くことができている。

算数は、全国及び県と同等程度の正答率でした。特に、「図形」の問題に落ち込みが見られ、図形の意味や性質の理解に課題が見られました。

興味関心の意識調査において、国語では「授業内容が分かる」、算数では「算数の勉強は好きに課題が見られました。

成果と課題を今後の学習指導に生かし、学習意欲の向上を促していきます。

「ぼくのスカート」

文・絵 ピーター・ブラウン



服を着たことがないフレッドが、とうとう素敵な服を見つけるといふお話です。その服はスカート。ネックレスや口紅もつけて…。その姿を見たお父さんとお母さんは…。

この本の訳と監修をされた日高庸晴さんは、後書きに「スカートをまとったフレッドと、その姿を見た両親はとても嬉しそうに笑顔に満ちていました。好きなことを正直に堂々と言えたり、誰にも遠慮することなく自分の好きな装いができる社会は、とても素晴らしいものです。…中略… 人と少し違うことで、いじめやバッシングの対象になることがあります。人は違うことが当たり前であり、その違いこそが何ものにも代えがたい大切な個性です。…後略…」と書かれています。この本を読み、改めて「一人ひとりを大切にすること」を考えたされました。この本は学校の図書室と保健室にあります。機会があれば読んでみてください。